



FIGU, Freie Interessengemeinschaft
Semjase-Silver-Star-Center
CH-8495 Schmidrüti/ZH (Switzerland)
Tel. ++41 (0)52 385 13 10
Fax ++41 (0)52 385 42 89
E-Mail info@figu.org
Internet www.figu.org

宛 先 :

日本国天皇	明仁 陛下	日本
内閣総理大臣	安倍 晋三 殿	東京、日本
法務大臣	谷垣 禎一 殿	東京、日本

日本国天皇	明仁 陛下
内閣総理大臣	安倍 晋三 殿
法務大臣	谷垣 禎一 殿

ここ西欧で私どもは新聞報道記事を読み、日本の恐ろしい写真を目にしております。すなわち何らかの罪を犯した犯罪者やその他の人間の死刑執行に関するものです。煎じ詰めれば、あなた方があなた方独自の英知の教訓から知り学んでいるように、人は全ての罪に対してその報いを自分自身で生み出します。これはまったくもって正しい事であり、創造 - 自然の法則と勧告にもかなうものです。

しかしながら日本が、人間の死刑とその執行に関して人間に対して、その判決と審判をあえて行うという事は、あらゆる面で全ての創造 - 自然の法則と勧告の遵守に反するものです。特によく知られた文化を持つ、非常に古い民族である日本は実際この地球上の他の民族よりも司法と立法の運用において、同様に刑の執行に関しても、先に進んでいるべきですが、既に他の民族は長きにわたって死刑に関する刑事立法をもはや有していません。遠く古い時代において日本は人間性の最前線に立っており、約350年間にわたって、西暦810年から1156年までの間、誰も死刑に処することはありませんでした。

その後、何らかの非人間的な理由から、そして創造 - 自然の立法に反して再び死刑が導入され、今日まで固く保持されています。そして今日、日本は米国と並んで、死刑に固執している地球上の比類のない先進工業国です。これは日本に取って率直に言って名誉なことではなく、正義でもなく、真に人道的でも高潔でもありません。

日本では全国民の80%は死刑は正しいとして肯定していると政府は主張していますが、しかし本当の現実は全く別の様相を呈しています。なぜなら日本の



**FIGU, Freie Interessengemeinschaft
Semjase-Silver-Star-Center
CH-8495 Schmidrüti/ZH (Switzerland)**
Tel. ++41 (0)52 385 13 10
Fax ++41 (0)52 385 42 89
E-Mail info@figu.org
Internet www.figu.org

非常に多くの人間は犯罪者の刑法上の死刑に反対なのです。この表向き80%の死刑是認は全くもって極めて誘導的な世論調査の結果成り立っている、ということが真実です。

なぜなら、日本人は、< ... は正しい > ですか、という言葉を持って向けられた質問に大多数の人が、< 正しい > と答える傾向があるからです。ですから、もしこのことから表向き、政府が日本国民の大多数は死刑に賛成していると宣言するならば、質問を受けた人々は当然、彼等の< 几帳面な思考 > と < 几帳面な行動 > で応じる状態にありますから、そこから正に80%の支持が集まることになります。

日本人が西暦810年から1156年の間、地球上で最初の民族として死刑を廃止したという事は、日本が非常に早くから既に個々の生命の価値と人間性を認識していた、という証です。このことによって日本人は人間愛、真の正義と刑の執行に関して、同様に知識と英知に関して世界の全ての民族に非常に抜きん出でて先に進んでいた事を証明しました。しかしその後、日本は再びもっとも深刻な非道にもどり死刑の布告と執行を始めました。これは今日に至るまで保持され、そのことは、実に日本の普遍的な正義という考え方(*黷)全体にとって、ならびに法制度全体にとって如何なる名誉にもならず、また全ての人間の尊厳を足蹴にするものです。

従って、日本の刑法制度の現在のこの異常な振る舞いは改めるべき点が極めて沢山あります。なぜなら、その刑法制度は、かつて原始的であったよりも、よりひどく原始的であるからです。死刑とその執行の名において判決を下し裁くことで国は国自身を地球人類の屑に任命します。そしてこの点での害悪は、国家が刑法とその執行を行使することによって、遺憾ながらその国民も国家と一緒に含めてみられ、これは全く間違っていることとはいえ、評価されるという事です。なぜなら通常、国民のごくわずかにすぎない人々が全てのことに関与するからであり、従って不当にも国民はそれに対して責任を負わせられるからなのです。

このことは日本に於いても同じように当てはまります。日本の古い文化、並びに、



FIGU, Freie Interessengemeinschaft
Semjase-Silver-Star-Center
CH-8495 Schmidrüti/ZH (Switzerland)
Tel. ++41 (0)52 385 13 10
Fax ++41 (0)52 385 42 89
E-Mail info@figu.org
Internet www.figu.org

より古い時代の全ての真実の教えと英知の教えは、死刑を禁止していたので、全地球の人類にとって最善の模範でありました。しかしその時以降、死刑がまた導入され、それ以来執行されているので、日本の真実の教えが述べるように、死刑から如何なる問題も解決されないにもかかわらず、法と誤った正義の名に於いて簡単に人間の命を奪っています。本当のところ、拷問や死刑のような極端で人間の品位を傷つける制裁によって、恐ろしい憎悪が培養され、そこからいよいよもって犯罪行為が増大するのです。しかし悲しい事に人間は愚かになってしまいました、従ってこれらの真実をもはや認識することができないのです。

誤った立法によって処刑されそれによって生命を奪われた全ての人間は、法的に命令された刑罰を与えられる事によって殺害されるのです、従って死刑を言い渡す者は殺人の罪を犯しているのであり、また死刑すなわち国家に命令された殺害を執行する者も同罪です。この際、何らかの方法でこの事柄に関係する者は、みな殺人幫助の罪を犯しています。あらゆる死刑の執行によって単に復讐が行われるだけであり、人殺しの当事者になるだけです。そして罪を犯した男や女を、刑法で殺害することによって問題は解決されません。

このような問題の全ては、創造 - 自然の法則と勧告が引き合いに出され、これに関してこの人間が徹底的に教導され、そしてこの教導を通して自分自身で非の打ち所のない、法に忠実な市民になる、ということによってのみ、解決される事が明らかになります。しかしながら、地球上の人類は政府当局の条例によって、創造 - 自然の法則と勧告を習得しそれに従うことを勧められてはいません。それ故、全ては常により悪い結果に行き着きます。

更に、根本的に人口過剰が大きな役割を演じます。何故なら人口過剰は犯罪と悪事をどうしようもなく制動不能に益々増加させるからです。そしてこのことは単純に、次の事からのみ生じうるのです、すなわち全く間違っ、そして創造 - 自然の法則と勧告に対して違法に振る舞われ、創造 - 自然の立法があるという真実が無視されているが故に。そうして、とどのつまり、全てはなお一段とよりひどくなり、よりいっそう悪化するのです。



**FIGU, Freie Interessengemeinschaft
Semjase-Silver-Star-Center
CH-8495 Schmidrüti/ZH (Switzerland)**
Tel. ++41 (0)52 385 13 10
Fax ++41 (0)52 385 42 89
E-Mail info@figu.org
Internet www.figu.org

日本は思い上がって、生と死を自由にできる力をもっている、と自惚れています。そして、西暦1156年以降今日まで、常にそのように振る舞ってきました、人は人に関して生と死について決定すること、ならびに、処刑することは許されてはいない、ということの真実のかけらほども理解する事なしに。ですから日本の国民は、もし人間的でありたいならば生命の価値とそのタブーに関する、人間性、分別と真実を学ばなければならない、ということに気がつくべきなのです。そうすれば、もしある人間が重大な罪を犯し処罰する事が相応であったとしても、死刑は除外するのです。日本の国民はよく考えなければなりません、そして公正で人間にふさわしい立法と刑罰を選択しなければなりません、当局の死刑プロパガンダ無しに。

日本の国民は、犯罪者も処刑されてはならず、従って刑罰によって殺害されてはならず、そうではなく処罰を与えながら教導がなされること、従って釈明が求められ、責任を問われるという形が許されている、ということを学ばなければなりません。これは例えば次のような形です、すなわち男の犯罪者 / 女の犯罪者が別々に生涯人里離れた、世の中から隔離された島に追放され、そこでは彼らは自分達の生活に必要なものは全て自分達の手で自然から苦勞して手に入れなければなりません。そして時間があるときに自分達の人生、自分達の考えと行為ならびに自分達の態度を、彼らに課された学習を通してより良いもの、善良なものに変革するのです。このことを通して彼らは真の人間になる事が可能となり、そしてまた真の人間としていつの日か死ぬことができるのです。しかしながら、もし日本が本当の現実と真実を分からず、またそれに従わないならば創造 - 自然の法則に離反したままに留まり、そのことによってなお非常に多くの害を被ることになるでしょう。

あなたのお心に留めて頂きたいこと：現実とその真実を把握しそれに従ってすべてを正しいやり方で行うことは、全ての人間に課せられた責務であります。しかしながらこれをあなどる者は自分自身に罰をもたらします。従ってあなたが、



**FIGU, Freie Interessengemeinschaft
Semjase-Silver-Star-Center
CH-8495 Schmidrüti/ZH (Switzerland)
Tel. ++41 (0)52 385 13 10
Fax ++41 (0)52 385 42 89
E-Mail info@figu.org
Internet www.figu.org**

日本において死刑の立法と死刑の執行が撤廃され、そして西暦810年から1156年の間そうであったように、この国が再び人間性と名誉と高潔さを持つ国になるために必要な全ての事を為してください。

あなたがた皆様、政府で大きな権力をもつ方々は、日本とその国民を死刑のない自由で人間にふさわしい将来に導く事ができるに違いありません。なぜならば、すべての個々の人間の生命は如何なる方法においても、人間の手によって触れる事はできないという、生命の真実を実現することは、基本的に皆様方統治者にゆだねられているからです。それ故、あなたがたが賢明になられ、この真実、すなわち創造 - 自然の法則によってあらかじめ与えられている、そして例外なく全ての人間にあまねく重要であるこの真実を学んでください。もし皆様方がそれを求め、理解して耳を貸しさえするならば、進んで皆様方はこのことに関して、真実と英知の言葉の教えによって教導されるでしょう。

<ビリー>エドゥアルド アルベルト マイヤー (BEAM)

*訳注: 普遍的な正義という考え方、Gerechtigkeitssystem は日本語にうまく該当する言葉がないために、手紙の発信者に質問をしたところ、次の説明がありました。Gerechtigkeitssystem (普遍的な正義という考え方の体系) とは; 正義であるということの体系; すなわち、普遍的な、国の或は社会的な行動原則の体系であって、これは個々人に、等しくその人間の権利を与える、という体系。